



鷺別小、中学校前の歩道が完成

NOBORIBETSU

広報 のぼりべつ

'92
9.1
No.503

■ 人口/57,003 ■ 世帯/20,357 (前月比=人口+18・世帯+34) 平成4年7月末現在

市長就任に

あたたって

登別市長の二期目就任にあたり、ごあいさつを申し上げます。

始めに、任期満了に伴うこの度の市長選挙において、無投票当選という光栄を与えていただいたことに対し心から感謝申し上げます。

私は、昭和六十三年に市長に就任していらい今日まで、「市民の心をひとつにしたまちづくり」を基本理念に、市民の皆さんとの対話を重ねながら市政を推進して参りました。

この度の市長選挙を通して、私はこれまでの市政に対する取り組みが市民の皆さんから評価をいただいたものと受け止めておりますが、同時に市政に対する期待が非常に大きいというのをひしひしと感じ、身の引き締まる思いを禁じ得ません。

この四年間、私が市政を担

当してきて何よりもうれしく感じることは、「まちづくりは市民の手で」という市民の皆さんの自主的な活動の輪が広がり、行政に対する皆さんの理解や参加、協力が得られたことです。私は、これを何よりの大切な財産としながら引き続き市政に取り組んで参ります。

いま、私たちを取り巻く社会情勢は、急速に進行する高齢化をはじめ、国際化や情報化の進展などによって激しく変化しつつあります。こうした社会情勢の変化に伴い、市民の市政に対するニーズもまた質的な変化を見せながら多様化し、増大化しています。行政は、こうした市民ニーズを的確にとらえ、政策を展開して行くことが求められています。

一方、企業の誘致や大型店の進出などにより、やがて税

取への効果に期待の持てる面もありますが、市の財政環境はなお厳しいものがあります。このため、当面は財政の健全化に配慮しながら、しっかりと二十一世紀を見据え、時代の変化を先取りした政策の展開を図る必要があります。

私は、これまで登別市のあらゆるべき姿を視野に収めながら、さまざまな計画や指針を策定し、まちづくりに取り組む姿勢を市民の皆さんの前に明らかにして参りましたが、今後これらの計画や指針の実現に向けて積極的な取り組みをして参りたいと考えています。

二期目は、このような観点から、

- ・創造性あふれる開かれた市政を進める
- ・登別の大地に根差した、たくましい産業を育てる
- ・人と環境に優しいすみよいまちをつくる
- ・市民の心が通じ合う潤いと思いやりのあるまちをつくる
- ・ふるさとを愛する豊かな心と薫り高い文化が育つまちをつくる

と、いう五つの課題に挑戦し

ます。

まちづくりの基本は、登別市民一人ひとりが豊かさを実感できるような地域社会を築くことにあります。そして、このことは行政の一番大切な役割であると考えています。先程も述べましたように、

財政は極めて厳しい環境にあります。一方では、道路や下水道など都市基盤の整備はさらに急がなければなりませんし、若い人が定着できるような産業の育成にも取り組まなければなりません。また、高齢化社会を迎えて、福祉はこれまで以上に充実しなければなりません。

私は、このような状況の中で、国や道の制度を十二分に活用しながら、着実に課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。

これからの四年間は、二十一世紀への橋渡しをする重要な時期になります。私は、二十一世紀に向かって新しい登別を築くため、市民の皆さんの先頭に立って全力を尽くしたいと考えています。

市民の皆さんのご支援とご協力をよろしく願います。

登別市長 上野 晃

登別市長 上野 晃

この四年間、私が市政を担

の進出などにより、やがて税

と、いう五つの課題に挑戦し

登別消防団

創設八十周年

今年、登別消防団が発足してから八十年になります。

あゆみ

大正二年 登別温泉に青年会消防部が結成発足。登別に消防団の前身「消防組」が結成発足。
昭和十四年 警防団令により消防組を改組し、「幌別警防団」となる。

昭和二十二年 消防団令により警防団を廃止し、「幌別村消防団」として発足。
昭和二十四年 幌別村消防本部条例、同消防団条例、同規則及び危険物取締条例を制定。本部職員六名、団員三百十七名となる。

昭和三十六年 消防団条例及び同規則を一部改正し、常勤団員制度を設ける。非常勤団員百九十一名、常勤団員九名とし、常勤団員を各分団に配置。
昭和三十七年 消防団発足五十年記念式典を挙げる。
昭和四十年 政令指定により登別町消防署設置。消防署に登別

登別温泉、鷲別分遣所と幌別、来馬派出所を置き消防本部の組織を総務、消防の二係制とする。この年、室蘭市と消防相互応援協定を締結。
昭和四十四年 北海道知事より登別町消防団が「竿頭授」を授与される。この年、白老町と消防相互応援協定を締結。
昭和五十二年 有珠山噴火。市内に多量の降灰があり、連日除去のため消防団出動。
昭和五十五年 団員定数を百九十一名とする。
昭和五十六年 胆振地方消防総合訓練大会において富士分団が第三種小型ポンプ操法で優勝。
昭和五十七年 消防団創設七十周年記念式典を挙げる。
昭和六十二年 非常通報システム運用。
昭和六十三年 西胆振消防組合と消防相互応援協定を締結。
大正二年発足の消防組を前身とする登別市消防団は、腕用ポンプ一台という現在では想像もつかないほど乏しい装備でス

タートし、八〇年の間には、鷲別の大火、幌別小学校全焼、幌別町の大火などの消火活動に、また、自然災害時の救援活動にと、皆さんの生命と財産を守るため今日まで尽力して来ました。登別市消防団の八十年にわたる歴史と伝統を祝し、記念演習を行います。

▽日時 十月一日(木)午後二時三十分

▽場所 幌別西小学校グラウンド

▽内容 腕用ポンプによる訓練、ミニ消防車展示、工作車操法訓練、化学車による消火訓練、放水訓練(カラー放水)

▽問い合わせ 登別市消防本部 総務課(☎9611)

※雨天の場合は、演習を中止します。

地域の発展のため
がんばります

八月九日執行の登別市議会議員補欠選挙により、篠原孝明さんが選出されました。



篠原 孝明(59)
登別市栄町4-7-2
当選回数6 無所属

秋は登別が美味しい

大地の祭典

札内町のソーシャルグリーンで「大地の祭典」が開かれます。

札内台地の空気をスパイスに、パーベキューをほお張ろう。

▷日時 9月12日(土)午前11時から午後8時まで、9月13日(日)午前10時から午後4時まで

▷内容 パーベキュー(和牛300g 1700円、羊270g 1100円)、羊の毛刈りショー、羊のダービー、乾草投げ大会、もちまき、抽選会、ウルトラクイズゲーム、卵の数当て、スポーツカイトデモンストラーションなど盛りだくさん
また日曜のみクロスカントリー

レース(午前8時30分受付)、鉄人レースを行います

▷問い合わせ 大地の祭典実行委員会(☎6066)、クロスカントリーレース実行委員会(☎9963)

登別漁港まつり

潮の香り漂う登別漁港で「登別漁港まつり」が開かれます。

この機会に新鮮な海の幸を自分の物にしちゃおう。

▷日時 9月12日(土)午前10時から午後7時30分まで、9月13日(日)午前9時30分から午後3時まで

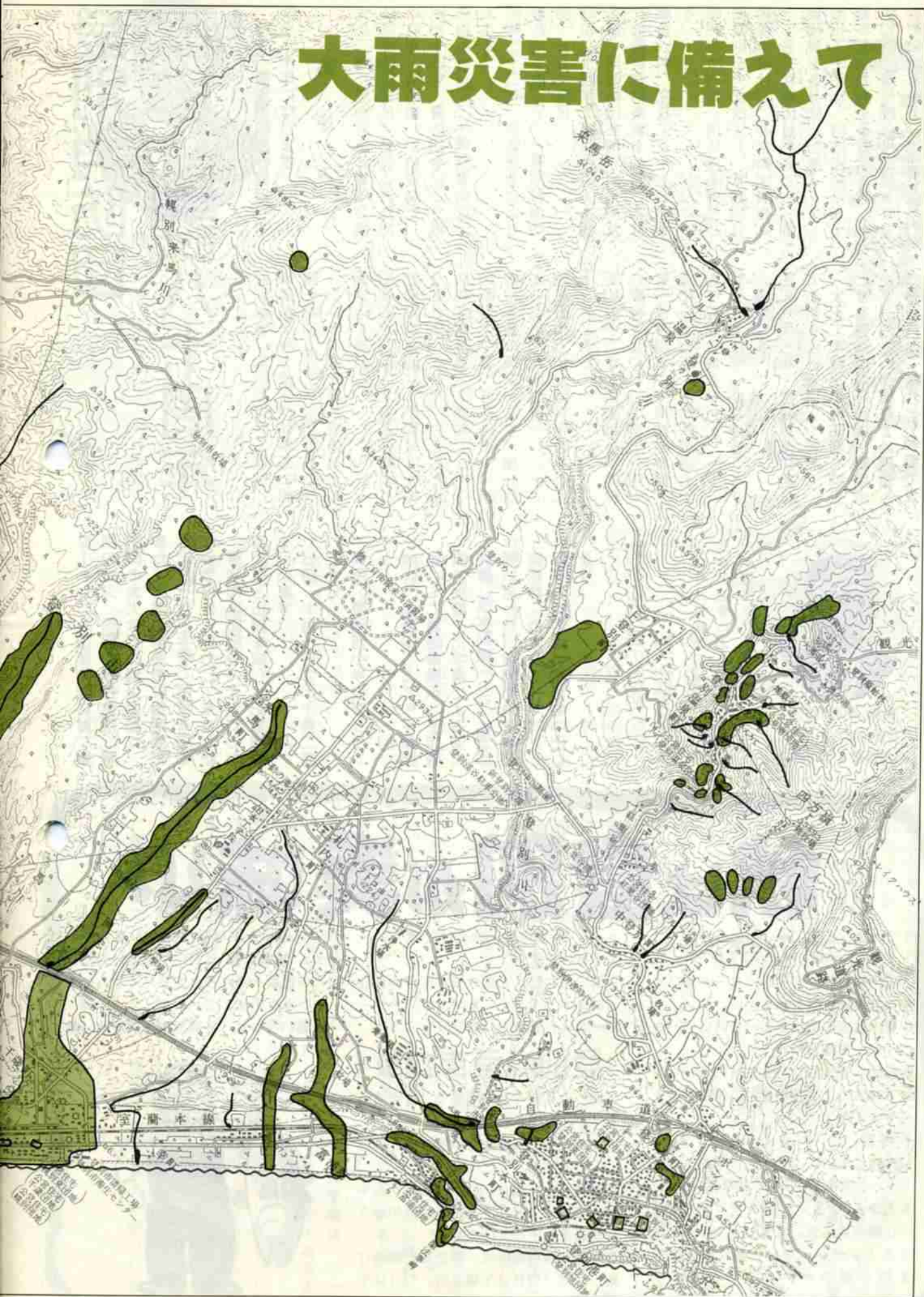
▷内容 海産物即売、青空市、朝揚げ鮭の即売(12日は午後3時、13日は午

前9時30分より整理券をお渡しします)、**花火大会**(12日午後6時30分)、その他歌や踊りなど盛りだくさんのイベントを用意しています

▷問い合わせ 登別漁業協同組合(☎1321)



大雨災害に備えて



災害危険区域図



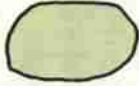
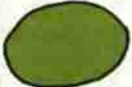

この図は、登別市地域防災計画で定めている災害が予想される区域を表わしました。

過去において災害が発生した場所を中心に定めたものです。

台風や集中豪雨の際には、十分注意してください。

現在、市は「災害に強い安全なまちづくり」を目指して河川改修や幹線排水路等の整備を進めています。

凡 例

-  水防区域
-  高波、高潮、津波等予想区域
-  市街地における低地帯の浸水予想区域
-  地すべり、がけ崩れ等予想区域
-  土石流危険渓流予想区域



大雨災害に備えて！

大雨に備えて

登別市は、過去数度にわたり大雨による災害が発生しています。

これは、胆振中部から苫小牧にいたる海岸線に沿うように、海拔一千前後のオロフレ山系がびよぶのように連なっており、南東の風がこれらの山に直交するといった地形が、大雨の発生と密接な関係にあるといわれています。

予測が難しい自然が相手だからといって何もしないでいるわけにはいきません。雨に對した的確な判断を行い、万一の場合にはいち早く避難行動を起こし、人的被害を出さないようにすることは、私たち自身の生命に対する責任です。

雨が降ってきたら、何に注意し、どのような行動をとるべきか、防災について考えてみましょう。

▽備えはできていますか
・家の回りの排水をよくするため

排水溝にたまってあるドロやゴミなどをとり除きましょう。

・家屋への浸水に備え、低いところにある電気製品などは二階や高いところに移しましょう。

・プロパンガスボンベや灯油カンなどの流れやすい物は、ロープなどでしっかり固定しましょう。



台風等が近づいたら

▽気象情報に注意

テレビ、ラジオなどの気象情報に注意しましょう。

大和町2丁目34	85-3135
富浦町1丁目11-1	85-5409
富浦町2丁目11-4	86-6303
富浦町2丁目34	
新生町1丁目24	
新生町2丁目15	
新生町3丁目14	
新生町4丁目3	
栄町1丁目4-1	
若草町1丁目1-2	86-7513
若草町1丁目2	
若草町2丁目	
若草町2丁目10	
若草町2丁目32	
若草町3丁目11	
若草町4丁目4	
若草町4丁目20	
鷺別町2丁目	
鷺別町4丁目36-6	86-7950
鷺別町4丁目36-21	86-7011
美園町4丁目23	86-6125
美園町5丁目36	86-4591

登別	16 登別東青少年会館	登別本町1丁目18-4	83-3399
	17 登別小学校	登別本町3丁目25-2	83-1014
富浦	18 富浦会館	富浦町1丁目46-4	83-2481
	19 富浦児童館	富浦町1丁目52-3	83-1987
札内	20 札内小中学校	札内町73-3	85-3184
	21 老人憩いの家 借楽園	札内町73-1	88-0706
	22 老人憩いの家 幸町	幸町5丁目27-4	85-8034
	23 観別東小学校	観別町8丁目16-1	85-3532
	24 老人憩いの家 東海園	観別町7丁目18-1	85-3860
	25 老人憩いの家 水相園	観別町3丁目18-2	85-4560
	26 鉄南ふれあいセンター	観別町3丁目17-1	85-2966
	27 観別児童館	観別町4丁目10-3	85-2802
	28 観別東団地集会所	観別町8丁目12	85-8000
	29 老人憩いの家 千歳	千歳町101-1	85-8032
	30 観別中学校	千歳町3丁目1-3	85-3111
	31 老人憩いの家 千歳の家	千歳町4丁目6-2	85-2066
	32 老人憩いの家 三寿園	中央町3丁目10-3	85-4994
	33 老人憩いの家 静和園	中央町5丁目13-7	85-4987
	34 登別青少年会館	中央町5丁目21-12	85-3107
	35 登別市役所第2庁舎	中央町6丁目11	85-2111
	36 観別小学校	中央町6丁目19-1	85-2521
	37 常盤婦人研修の家	常盤町2丁目34-1	85-8039
	38 老人憩いの家百寿の家	常盤町2丁目35-1	85-8025
	39 老人憩いの家常盤の家	常盤町3丁目26-3	85-4564
	40 柏木団地集会所	柏木町1丁目28-1	88-0312
	41 柏木婦人研修の家	柏木町4丁目24-8	85-1079
	42 老人憩いの家 柏木	柏木町4丁目24-11	85-1079
	43 老人憩いの家 柏木の家	柏木町4丁目31-2	85-8040
	44 老人憩いの家 相生の家	富士町1丁目1-4	85-4992
	45 富士幼稚園	富士町7丁目1-1	85-9511
	46 富士会館	富士町7丁目2-1	88-0722
	47 富士保育所	富士町7丁目2-1	85-2558
	48 老人福祉センター	富士町7丁目11-1	88-1303
	49 登別市民会館	富士町7丁目33-1	88-1100
	50 老人憩いの家 花の家の家	片倉町3丁目14-19	85-8041
	51 西陵中学校	片倉町5丁目12-1	85-5041
	52 観別西小学校	片倉町5丁目13	85-2364
	53 老人憩いの家 新川	新川町3丁目6-2	85-3741
	54 新川婦人研修の家	新川町4丁目15-11	85-8037

鷺別	55 老人憩いの家 緑寿の家	緑町1丁目2-4	85-4995
	56 桜木婦人研修の家	桜木町2丁目15-17	85-1244
	57 老人憩いの家 桜木の家	桜木町2丁目15-16	85-4561
	58 青葉小学校	青葉町3-3	85-1477
	老人憩いの家 あかしの家	若山町2丁目9-2	88-0156
	60 登別市総合体育館	若山町2丁目26-1	85-5552
	61 老人憩いの家 若山の家	若山町2丁目43-128	85-4587
麓山	62 市民研修センター	麓山町8-3	85-2569
	63 老人憩いの家 和幸園	大和町2丁目27-17	85-9135
	64 緑陽中学校	富岸町1丁目1-11	85-5409
	65 老人憩いの家 富久寿園	富岸町1丁目3-2	85-4980
	66 富岸小学校	富岸町2丁目17-4	86-6303
	67 富岸青少年会館	富岸町2丁目23-15	86-2449
	68 老人憩いの家 新生	新生町1丁目13-21	86-5290
	69 新生団地集会所	新生町2丁目18-4	86-6822
	70 千代の台集会所	新生町3丁目13-1	86-6917
	71 老人憩いの家 希望の家	新生町5丁目23-21	86-5248
	72 老人憩いの家 共和園	栄町1丁目10-1	86-9902
	73 常盤婦人研修の家	栄町2丁目7-5	85-9918
	74 富岸児童館	栄町2丁目18-4	86-7187
	75 老人憩いの家 栄楽園	栄町4丁目24-3	86-6959
	76 若草小学校	若草町1丁目1-2	86-7513
	77 若草婦人研修の家	若草町2丁目2-7	86-9919
	78 若草幼稚園	若草町2丁目11-1	86-1722
	79 老人憩いの家 平和園	若草町5丁目32-7	86-9905
	80 老人憩いの家 友和園	鷺別町1丁目26-2	86-9916
	81 鷺別児童館	鷺別町1丁目36-3	86-2766
	82 鷺別青少年会館	鷺別町4丁目36-38	86-6515
	83 鷺別公民館	鷺別町3丁目3-4	86-6823
	84 鷺別小学校	鷺別町4丁目36-21	86-7011
	85 鷺別中学校	鷺別町4丁目36-6	86-7950
	86 老人憩いの家 恵和園	鷺別町4丁目36-37	86-6515
	87 老人憩いの家 鷺六園	鷺別町6丁目14-10	86-4019
	88 老人憩いの家 美その園	美園町2丁目6-1	86-6807
	89 老人憩いの家 三花園	美園町4丁目8-8	86-6975
	90 美園婦人研修の家	美園町4丁目8-9	86-6975
	91 老人憩いの家 光和園	美園町5丁目15-4	86-7010
	92 美園児童センター	美園町5丁目36-4	86-4591
	93 老人憩いの家 桜美園	上鷺別町117-26	86-7079

9月1日は「防災の日」

- ・懐中電灯、トランジスタラジオ、
- ・下着、靴下を数枚、毛布、レインコートなどの用意をしておきましょう。
- ・いつでも避難できるように
- ・非常用食品は二三日分は用意しておきましょう。

◎家族との連絡
家族が離ればなれになったときの連絡方法や集合場所をあらかじめ決めておきましょう。また、子どもやお年寄りには住所、氏名、生年月日、血液型、電話番号、保護者氏名等を記した「身元確認証」を身につけておきましょう。

避難するときのために

◎大雨注意報
豪雨発生の可能性があるとき、実際に雨が降りはじめ、かなりの降水量となり、それが続くか、さらに強まると見込まれる場合の情報は、



- ・雨量がさらに増えて降り続き、災害の発生も予想される場合の警戒を意味する情報です。
- ・裸足は危険です。ヒモでしめられる運動靴等を用意しましょう。
- ・歩ける深さ 成人男性で約七十センチ、女性で約五十センチ。水深が腰まであるような場合は無理をせず、高い所で救助を待ちましょう。
- ・充分気を配ってください。

◎洪水のときの避難方法
洪水のときに避難する場合は、足元に注意し、子どもやお年寄りに充分気を配ってください。



風水害のあとしまつ

- ・危険物の漏れ出しはないか（ガス・灯油・毒物・農薬等）
- ・断線している電線があれば、電力会社へ連絡しましょう。
- ・家屋への浸水被害があった場合は、念入りに消毒をしましょう。
- ・（床下、庭、家の周辺に石灰を）
- ・あとしまつをするときは、ケガをしないよう、肌を露出しない服装で。

知っておきたい あなたの 避難場所

市は、市内各所に第1次避難所(屋外避難所)59か所と第2次避難所(屋内避難所)93か所を別表のとおり設けています。

万一の災害に備えて自分の避難場所を確認しておきましょう。

▷第1次避難所(屋外避難所)

災害のため一時的に避難し様子を見るための公園や広場、グラウンドなどです。

▷第2次避難所(屋内避難所)

災害で避難した人たちを収容するための施設です。

◎避難場所までの道順の確認

避難場所へ行くまでの道順は、必ず家族全員で確かめておきましょう。

どこの避難場所へどのように行くのか、2つ以上の場所と道順を知っておきましょう。

第1次避難所(屋外避難所)

地区	番号	避難所の名称	所在地	電話
カルルス	1	カルルスサンスポーツランド	カルルス町1-3	84-3148
	2	登別温泉小学校グラウンド	登別温泉町184	84-2062
	3	登別温泉中学校グラウンド	登別温泉町123-1	84-2069
	4	登別温泉ケーブル駐車場	登別温泉町224	84-2225
登別	5	登別ビーチパーク	登別東町1丁目	
	6	登別中学校グラウンド	登別本町1丁目1-1	83-1029
	7	旭公園	登別本町1丁目18-1	
	8	登別小学校グラウンド	登別本町3丁目25-2	83-1014
札内	9	札内小中学校グラウンド	札内町73-3	85-3184
	10	幌別中学校グラウンド	千歳町3丁目1-3	85-3111
	11	市営陸上競技場	千歳町3丁目4	85-5552
	12	つくし公園	千歳町4丁目5	
幌別	13	ナザラン公園	千歳町6丁目1	
	14	しおみ公園	幌別町2丁目25	
	15	幌別1号公園	幌別町4丁目19-1	
	16	幌別東小学校グラウンド	幌別町8丁目16-1	85-3532
	17	常盤公園	常盤町2丁目35-1	85-2521
	18	東公園	中央町1丁目13	
	19	西公園	中央町3丁目10-1	
	20	中央公園	中央町3丁目21-1	
	21	北公園	中央町5丁目20	
	22	幌別小学校グラウンド	中央町6丁目19-1	85-2521
	23	緑ヶ丘公園	中央町7丁目30	
	24	柏木公園	柏木町1丁目28	
	25	もみじ公園	柏木町3丁目36	
	26	富士2号公園	富士町5丁目7	
	27	富士1号公園	富士町7丁目1-8	
登別	28	登別市民会館駐車場	富士町7丁目33-1	88-1100
	29	西陵中学校グラウンド	片倉町5丁目12-1	85-5041
	30	幌別西小学校グラウンド	片倉町5丁目13	85-2364
	31	新川公園	新川町3丁目7-14	
	32	かえで公園	新川町4丁目無	
	33	のぞみ公園	桜木町2丁目	
	34	桜木公園	桜木町4丁目6	
	35	青葉小学校グラウンド	青葉町3-3	85-1477
	36	登別市立総合体育館駐車場	若山町2丁目26-1	85-5552
	37	市民研修センターグラウンド	飯山町8-3	85-2569

38	市立総合体育館
39	緑陽中学校
40	富岸小学校
41	いなほ
42	ことぶ
43	わらべ
44	くさぶ
45	なかよ
46	樺の木
47	若草小学校
48	若草
49	若草中
50	さわや
51	めぐみ
52	若草1
53	まぼえ
54	のびの
55	わかほ
56	登別中学校
57	登別小学校
58	室蘭自動車
59	美園運

第2次避難所(屋内)

地区	番号	避難所の名称
カルルス	1	カルルス老人研
	2	登別温泉公
	3	登別温泉小
登別温泉	4	登別温泉中
	5	登別温泉保
	6	老人想いの家
登別	7	老人想いの家白
	8	登別公
	9	老人想いの家
	10	登別児
	11	老人想いの家沙
	12	婦人セン
	13	老人想いの家
	14	登別中
	15	老人想いの家実

ひとまわり たくましくなって

Forventningsfulde japanere

Børge L. Madsen, Langskov, skuffede ikke, men blev en suveræn generalklassevinder ved det 25. Egeakvab for veteranmotorcykler.

At WEINER RASMUSSEN

EGESKOV - Garteneren fra Langskov, Børge Lehmann Madsen, skuffer ikke. Uanset om han stiller op på en partnerstilling eller sidder op på sin Harley Davidson fra

ikke ikke år. en med passion. medlem, siger Karsten Børge Lehmann Madsen. Han er en god kammerat og fyldt med humor, blev det undertrykt ved overrækkelsen, som blev foretaget af den hidtidige ejer af Egeakvab'et Nico Hansen.

Med 260 deltagere var jubilæumsløbet det hidtil største, og vi havde et pænt publikumsbælg. Af tæstesten samlede 450 deltagere, og der var omkring 1000-1500, som overnattede på Egeskov. Det så også ud til, at det opvisningsløb, vi havde arrangeret skal gentages

Da ni japanere for første gang rejste udenfor 'Den opgåede sols land', gik ren til Ringebu. De var på tur i Danmark og havde været i Ringebu i forbindelse med deres studieophold i Danmark. De var på tur i Danmark og havde været i Ringebu i forbindelse med deres studieophold i Danmark.

Da det japanske selskab i går ankom til Ringebu, var de trætte og forventningsfulde. De havde kørt i tog fra Stockholm, og var fra København blevet ledsaget af Lissi Zander.

Den side af sagen skulle



帰って来ました

デンマーク・フュン島全域をカバーする地元新聞「フィッシュポイント」に紹介記事が掲載される

今年度の「登別市中学生海外派遣事業」（広報のほりべつ7月1日号参照）は、市内の中学生7名が8月6日から14日までデンマーク、スウェーデンを訪問し、無事帰参しました。

参加した皆さんから、外国での体験や感想が寄せられましたのでご紹介します。

◎赤井 晋（緑陽中学校二年）
「海外研修に参加して」

僕は、この海外研修に参加することができて、本当に良かったと思っています。

まず、日本では見られないような建物がありました。レンガ造りの高い教会や、今も王様が住んでいる王宮、登別マリナーパークのモデルになったイーエスコークなどの伝統のある建物が、どっしりとしていて感激しました。

ホームステイ先のカールリン家では、ふだんはデンマーク語で話しているの内容はさっぱり分かりませんが、そのおじさんもおばさんも英語が話せるので、僕には英語で分かりやすく話してくれました。僕も、事前に英語を勉強したので、なんとか通じたようでした。

デンマークの人たちは、温かい心で僕たちを迎えてくれました。事故もなく楽しい研修旅行でした。

◎伊藤 浩（幌別中学校二年）
「海外派遣で感じたこと」

海外旅行が初めての僕にとつて、見る物すべてが感動の連続でした。ストックホルムでは、皇室や旧市街など多くの歴史的建物を見学しました。また、デンマークへ行く寝台車に乗りましたが、設備が整っていることにおどろき、快適な一夜を過ごしました。

ホストファミリーとの出会いは、外国の人と話しをする緊張感と自分の言いたい事を十分相手に伝えられないくやしさを味わい、改めて言葉の学ぶ大切さを知りました。

最後の日は、リンゲ市の人たちが、手作りの料理を持ち寄って送別会を開いてくれました。あまりの感動で、お互いに別れが惜しく、泣き出す人もいました。

言葉の壁や習慣が違っても、心の温かさに国境はないと、僕はその時感じました。研修を通じて僕も心が豊かな国際人になりたいと思いました。

この研修が長く続くことを望んでいます。

◎大平満子（札内中学校二年）
「私の得たもの」

私はこの海外派遣に参加して色々なことを学びました。

その中の一つに、「たとえ言葉が違っていても、お互いに気持が通じ合える」ということでした。一番大切なことは、相手を思いやる心、真剣に相手を理解しようとする心だと思いました。私は、相手の目を見て、自分の伝えたいことを心の中で一生懸命思いつづけていました。

ホームステイも、わずか三日間だけでしたが、たくさんさんの思い出ができました。また、お世話になっ



デンマークのコペンハーゲン「人魚姫の像」の前にて

家のおじさんやおばさんは、とても親切に私たちを歓迎してくれました。夕食後にドライブにつれていってくれたり、買物につれていってくれたりもしました。やっぱり、私はこの海外派遣に参加して良かったと、つくづく思いました。

◎工藤織枝(登別温泉中学校二年) 「海外派遣で感じたこと」

今回の海外研修は、私にとって本当にすばらしいものでした。特に考えさせられたこと、それは、ヨーロッパでは、高速道路を利用して、他の国へ行くことができます。しかし、日本は外国へ行くために、海という大きな隔たりがあります。この隔たりが、日本の文化や考え方に、どれだけ影響して

いるかということでした。

今回訪れたデンマークとスウェーデンの歴史を聞いても、外国のものでも良いものは取り入れる、しかし、自分たちの文化も大切にするという姿勢が伝わってくるのを感じました。

これからは、登別市の将来のことなどを含めて、自分自身の考え方を十分考え直す必要があると実感させられました。

◎小林卓也(西陵中学校二年) 「僕が心に残ったこと」

僕がこの海外派遣事業で外国を訪れ、一番心に強く感じたことは、色々々人への思いやり、ということでした。

それは、まず第一に、社会保障制度がかなり充実していることでした。特に、今回訪れたスウェーデンやデンマークは、交通量の多い所には必ず音の出る器具が設置されており、交通事故防止のための心くばりがされているということ。また、病院など医療機関がすべて無料(受診料等)であるということでした。このことには、かなり驚きましたし、関心も持ちました。

二番目は、僕たちがホームステイをして身にしみて感じましたが、友人や他人への心遣いがすごくされているということでした。ホームステイのときは、普段と変わりにくく接してくれているようでした



ノア・エア校で授業参観 日本語の授業

が、そのことがかえって緊張感を取り除いてくれ、とてもうれしく楽しかった思い出となりました。僕は、この視察旅行で感じた色々々人への思いやり、を自分ものとして、これから生活していこうと思えました。

◎櫻井千鶴(鷺別中学校二年) 「海外派遣の感想」

八月六日から十四日までの研修は、私にとってすべてが初めての体験でした。

訪れたところでは、どこも快く私たちを迎え入れてくれ、デンマークの人の優しさに感激しました。また、ホームステイ先にいたいた不安も、心からの歓迎ですぐに消え去りました。私たちの訪れたリンゲ市の街並

は、高いビルディング等は見当らず、古い石造りやレンガ造りの建物が目立ちました。古い文化を大切にしているようで、とても素晴らしいことだと思いました。

リンゲ市の学校を訪問したとき、生徒は皆のびのびして、とても明るく感じました。また、登別市の鬼おどりを披露したときに、デンマークの生徒もすぐにおどりに加わって、一緒におどってくれ、すぐにうちとけて、楽しいひとときを過ごすことができました。

ホームステイ先や買物のとき、英語力の無さを思い知らされました。これからは、もっと話せる英語を身につけたいと思います。

今回の海外派遣で学んだことは、デンマークの一部にすぎませんが、このことを皆に知らせたいと思います。そして、この経験をむだにしないように、他の国の歴史や文化も学んでいきたいと思えます。それが、今回このような機会を与えてくださった方々への恩返しだと思います。

◎萩野弥生(登別中学校二年) 「海外派遣で学んだ事」

私は、海外派遣で二つの大きな体験をしました。

一つは、言葉が違っていても心が通じ合うことができるということです。

私の英語は、確かにただ単語を並べただけのようですが、自分の



ノア・エア校で「鬼おどり」を披露 デンマークの人たちとの楽しい交流のひとつ

気持ちをなんとか相手に分かってもらいたいという一心で話しをしました。デンマークの人たちも、私の話しを理解しようと一生懸命に聞いてくれたのです。ただこれだけのことでお互いに近づき合うことができました。

二つめは、デンマークの人は、ただ陽気で楽しいというわけではなく、表面だけでなく、内面から相手を思いやる心があるのです。

私は自分だけではなく、周りの人に対する思いやりを忘れず、どんな人にも優しい気持ちで接しようと思えました。

友達の輪



人生もスポーツも
楽しみながら

伊藤吉司さん(56歳)
富士町在住

スポーツは何でも好きなんです。中学校から野球をやっていたんですが、高校に入って走るのが速かったのでサッカー部に誘われました。それから今までサッカーは続いています。おもしろいですよ。サッカーは、ゴールにボールを入れるという単純なだけ工夫もできるんですね。自分で考えていろいろなパスを出すのが楽しいんです。

今、幌別西小学校のサッカー少年団をやっているんですが、このチームは勝つためのサッカーではなく楽しむためのサッカーをやっているんです。勝利至上主義になりがちな最近のスポーツ感覚はちょっと疑問ですね。私は、子供達がサッカーを通じて、体力や自分

で考える力をつけてくれればと思っています。そして、バスひとつ出すにも相手があるんですよ。取りやすいのかを考えて、思いやりのあるパスを出せる人になって欲しいんです。サッカーに限らずね。そうすると自然にボールも集まるし、友達も増えてくるんですよ。

「ボールひとつあれば友達になれる。」と言われるように、スポーツは何でも楽しくなきゃね。私はサッカーのほかにもスポーツをやりますが、私がやっているとなぜかすごく楽しそうに見えるんだそうですよ。人生もスポーツ同様楽しまなくちゃね。

(リポーター 大屋二三枝)

今回は、片倉町在住の井野まち子さんです。お楽しみに!!

ハロー! ジル です

ピーター先生の後任の英語指導助手ジル・ウーキイさんが二学期から教壇に立っています。ジルさんは、イギリス南部の美しい港町ブールの出身で、ケント大学を卒業したばかりの二十二歳。

趣味は小説を読んだり映画を見たりすることで、日本にいる間に折り紙を習ってみたいそうです。また、冬になったらスキーをするのを楽しみにしており、相撲も見たいと積極的です。

登別の街の感想やこれからの抱負について、「海もあり山もありすばらしいところだと思います。人もとても親切です。たくさんの方達をつくり、中学生にはできるだけ英語を話してもらいたいので、そのためにがんばります。」

みなさんも、街でジルさんを見かけたら「ハロー」と声をかけてください。



消費者コーナー

かっこいい消費生活シリーズ(その3)

がん具煙火の安全のために

(火薬類取締法)

おもちゃ花火は夏の風物詩として広く子供から大人まで親しまれており、若者達の使用も増えてきているなか、性能や現象が多様化し、花火による災害事故は依然として後を断ちません。

◎がん具煙火の規定

おもちゃ花火は火薬類取締法の中で「がん具煙火」と規定し、その構造や使用する際の現象に合わせ、火薬類の量を危険のない程度に制限しています。しかし、おもちゃ花火は、その性質や使用上の習慣から子供達が自由にお店で買うことができ、だれでも手軽に楽しむことができるため、遊び方を間違えたり、不具合な花火があると、思わぬ災害事故に結び付くことがあります。

◎がん具煙火の安全基準

通商産業省では、おもちゃ花火の使用上の安全基準作成について、業界の積極的な協力を得ながら検討しております。

また、煙火業者の全国組織である(社)日本煙火協会では、消費者の意見や業界内の経験を踏まえて自主的に検討を重ね「がん具煙火の安全基準及び検査等に関する規定」と「安全基準及び検査基準等に関する細則」を制定し、自主

検査を行っています。

◎がん具煙火検査制度

(社)日本煙火協会ががん具煙火検査所で国産品、輸入品にかかわらず国内で販売されるすべてのがん具煙火について、火薬類取締法に定められた基準に適合しているかどうかを確認する検査と実際に使用する際に構造、現象等に危険性がないかどうかを確認する検査を行い、使用中の事故の発生を防止することを目的としています。

☆小さい子供が遊ぶ時は、必ず大人が付き添いましょう。

☆必ず水を用意しましょう。

☆遊び方をよく読んで、必ず守りましょう。

☆花火を人や建物に向けたり、燃えやすいもののある所で遊んではいけません。

☆風の強い日や、たくさんのお花火に一度に火をつけること、花火をほくして遊ぶことは危険ですからやめましょう。

☆正しい位置に、正しい方法で点火してください。

☆吹き出し、打ち上げなどの筒物の花火は、途中で火が消えても筒をのぞいてはいけません。

☆遊んだ後は、あとかたづけを必ずすること。

▽問い合わせ 登別消費者協会

(☎83307)

生涯各時期の発達課題

——あなたもわたしも心がけよう——



発達期	各時期の課題	発達期	各時期の課題
乳幼児期 (0歳～6歳)	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的な生活習慣をつける 親と子の結びつきとふれあい 遊びを通しての対人関係づくり 自制力や危険から身を守る方法 善悪の判断を養う 自然や生物を愛護する心を育てる 	成人期Ⅰ (26歳～35歳)	<ul style="list-style-type: none"> 明るく豊かな家庭づくりをはかる 育児の知識を身につける 個人学習の機会拡充 奉仕活動と社会参加の促進 健康、体力の増進をはかる 国際社会を生き抜くための広い視野を養う
少年期Ⅰ (7歳～12歳)	<ul style="list-style-type: none"> 正しい生活習慣の確立 望ましい人間関係づくり 体力づくりと社会性の育成 異性の理解と仲間づくり 自主性、自律心を育てる 探求する心を育てる 勤労の尊重と社会参加 	成人期Ⅱ (36歳～50歳)	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な将来設計をはかる 余暇活動の充実をはかる 個人学習の機会拡充 地域社会活動への積極的な参加 国際社会を生き抜くための広い視野を養う 成人病の予防と健康管理
少年期Ⅱ (13歳～18歳)	<ul style="list-style-type: none"> 信頼できる友人関係の確立 生活のリズムの習慣化 非行防止と健全育成 将来の職業生活の変化 労働、奉仕の尊重と社会参加の促進 正しい交友関係の確立 	成人期Ⅲ (51歳～64歳)	<ul style="list-style-type: none"> 成人病の予防と健康管理 老後の生活設計の準備 個人学習の機会拡充 職業を通して社会に貢献 国際社会を生き抜くための広い視野を養う
青年期 (19歳～25歳)	<ul style="list-style-type: none"> 職業人としての自覚と責任 個人学習の機会拡充 奉仕活動と社会参加の促進 健康、体力の増進をはかる 男女の交際と結婚の準備 国際性を身につける 	高齢期	<ul style="list-style-type: none"> 身体的安全、健康維持、増進をはかる 豊かな経験や知識を地域社会に役立てる 余暇生活の充実 生きがいある生活づくり

人生の各時期の発達に

即した課題

私達ひとりひとりの人生には、誕生から死に至るまでの生涯各時期の発達段階に応じて身につけておかなければならない課題があります。

今回は、その発達段階を八期に分け、それぞれ、どんな課題があるかについて述べてみます。

あなたひとりの問題として、家庭生活、職業生活、社会人としての生活の上から、一度振り返り、「生涯学習」を実践する上での参考にしてみたいかがでしょうか。

(生涯学習推進室)

See you later.

またあいましょう

平成2年8月から、中学生に生きた英語を指導してきたピーター・ジョン・ヘンティさんは、2年間の務めを終え、栗沢町へ行かれました。

平成3年3月に、日本人の伊藤知子さんと結婚。もうじきお父さんになるピーターさんから在任中の思い出などを語っていただきました。

登別市が僕を英語指導助手(AET)として招致して2年。僕がここを去っても、また新しい先生が来てうれしく思っています。

様々な国からAETを呼ぶことによって、市民と生徒が新たな経験や知識を得るでしょうし、登別の評判も世界中に広がっていくことと思います。

ここでの生活は僕に数多くの思い出を残しました。色々なことを説明し、見せてくれた人々、生徒や友人達、そしてまた知らない人々の笑顔が強く印象に残っ



ています。ひとりで暮らし始めたとき、米を持って来てくれ炊飯器の使い方を教えてくれた人、鉾山町という静かで素敵な所を紹介してくれた人、市の資料館で夏のキャンプをした時、そこであった小学生はその後手紙を書いてくれました。家族ぐるみ、町ぐるみでのふれあいは、あげればきりがありません。多くの出会いがありました。各学校であった子供達は、4,000人以上になると思います。僕の知らない人も僕のことを知っていました。最初はここに来て「あっ外人だ。」と言っていた人達も最近では「あっピーター先生だ。」と言ってくれるようになりました。もちろん僕も前よりずっと町の人達と親しくなりました。全ての中学校で「See you later」という言葉を教えました。「Good bye」より僕はずっといい言葉だと思っています。今の世の中はそんなに広くないから、それでは皆さん Good byeではなく See you later.

※AETとはアシスタントイングリッシュティーチャーの略。

来馬(ライバ)とは、随分変わった名称である。「ライマ」と読むのだろうか。また、馬に関係ある地名かな、とよく質問される。ライバの語源は「ライバ」の訛り、勿論アイヌ語地名に由来している。

ところが、意味の解釈で「蝦夷語地名解」を著した水田方正氏は「ライバ・死者を発見する処の意味、今の小学校前を川が流れていた頃人多く落ちて死したりと云う」と述べているので、「とんでもない」と怒った登別の偉大な言語学者知里真志保先生は、ライバはライベツなど道内でよく

でいる地名「古い川・淀んで落ちるような処の意味。人が多く落ちて死んだなど聞いたことがない」と指摘し、更に北海道曹達株式会社を設立し登別の町をこよなく愛したアイヌ語地名の大家山田秀三先生も「楽しい町にケチをつけられては我慢できない。昔の来馬川は水量も豊富で、下流は鉄橋付近をゆつくりと流れ幌別川に合流していた。今でも満潮時は海水が潮り、川が動かないように見える」とアイヌ語本来の自然の情景を観察しながら「淀んでいる河口」と解釈され、知里先生とともに、永田氏の誤りを指摘している。

また、昔登別に「ライバ」が二か所あり、現在の富岸川は「ワシベツライバ川」と云い、西富岸川・

郷土史点描

登別の町名を訪ねて

「来馬町」



登別郷土文化研究会 高武神

上幌別川や他の沢水と合流して富岸・新生・若草・美園町の大湿原地帯をゆつくり流れ、幌別駅の北で幌別川に流入していた。現在の富岸川のように直接海に流出させたのは、明治四十年(一九〇七)頃で、両者とも知里・山田先生が誤されているように「ゆつたりとした川」の意味があった訳である。さて「来馬」の名称であるが、約四十年前の資料では「ポロライバ・ボンライバ」など、大、小ライバの意味の片仮名字がみられるが、同時代に蝦夷地調査隊に参

の往来、荷物の運送で馬は常時用意され飼育されていたが、来馬川付近は野性馬が多く、片倉家支配地となった明治初年、開墾が進むにつれ「数百の馬が群をなし、貧弱な厩を押し倒し、畑地に入り作物を食い荒らす」などの被害が報告されているので、馬とは無関係でない状況にある。ライバから、頼婆の字も使われたが、漢字表現の必要性から「頼婆」の地名もおかしく、入植者も知っていたかどうか。記録の上で、来馬の字が表れたのは明治三年(一八七〇)片倉家入植以降「胆振国幌別郡全図」に来馬山・ライハ川・来馬の地名が記入され「幌別郡之内、東西来馬丁屋敷の図」に来馬の名がみえるので、此の頃「来馬」の地名に定着したものとと思われる。

加した市川十郎の「野作東部日記」に「会所より測量、頼婆登、丑五分」即ち「会所のあった幌別町一・二丁目からみて、丑五分・北北東に頼婆山がある」と漢字で初めて記録した「頼婆」の字がみえ、測量でも頼婆登は現在の来馬岳の方向なので、両者は同じ山の名称であることは明白である。頼婆は勿論当て字であるが、前記の幌別町一・二丁目は、江戸時代場所請負の中心で、通行屋・会所などがあり、蝦夷地警備のため幕府役人、南部・仙台藩士など

それにしても「来馬」の地域は現在、山奥に引つ込んでしまったが、当時は広がった。現在の中央町四・七丁目、桜木町の一部以外に、富士・柏木・常盤・新川・片倉・来馬町の全域は「字来馬」に包含されていた。中央町は来馬・ホンライバ・ボン来馬、桜木町は小平河岸などという字名であるが、これは一部分の代表的地名で「字来馬」の小字名は三十三もあって複雑であった。

室蘭市

新作

日本刀展示会

▽日時 九月二十日(日)から二十一日(月)まで ただし二十一日(月)、二十四日(木)は休館日です

▽場所 室蘭青少年科学館

▽内容 北海道、東北地方に在住する刀匠の作品、写真、作刀工程などを展示

▽問い合わせ 室蘭青少年科 (☎3156)

学館 (☎1058)

第14回

日本フィル室蘭公演

▽日時 九月二十四日(木)午後六時三十分開演

▽場所 室蘭文化センター

▽内容 チャイコフスキの「ロメオとジュリエット」リストの「ハンガリー狂詩曲第2番」ほか名曲の数々を演奏

▽入場料 A席四千五百円、B席四千円、自由席三千円

※前売券は各ブレイガイドで発売しています。問い合わせ 室蘭市文化振興課 (☎3156)

となりまち ぽっと ライン

伊達市音楽協会は、現在フランスのリヨンオペラ座オーケストラの首席奏者を務めるかたわら、独奏家として各地で数々のリサイタルを開き活躍している、

チェロ奏者津留崎直紀さん(滝川市出身・東京芸術大学卒業)を招いて、チェロ独奏会を開きます。秋の夜長をチェロの生演奏でお楽しみください。

華麗なチエロの演奏会へどうぞ

伊達市

▽日時 九月二十七日(日)午後六時三十分開場 午後七時開演

▽場所 伊達市社会福祉センター (伊達市役所前)

▽入場料 大人二千円、高校生以下千円(入場数に制限がありますのでお早めに前売り券をお求めください)

▽前売券発売先 小倉楽器店

伊達市鹿島町6 (☎0142-4500)

▽問い合わせ 伊達市音楽協会事務局 玉川さん (☎3315)